

<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> (様式1) 平成19年度 事務事業評価表 </div>						
記入年月日	平成19年3月30日		記入者		連絡先	780-1416
平成18年度部名	経済部		課名	津久井経済課	課長名	佐藤
平成19年度部名	経済部		課名	津久井経済課	課長名	佐藤
事務事業名	林道等維持管理事業					
予算上の事務事業名	林道等維持管理事業					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	26110		
基本目標	[ゆとりある みどり豊かな環境共生都市]をめざして					
政策名	第4章美しいやまなみと良好な居住環境を創造します					
基本施策名	第6章総合的計画的な土地利用を進めます					
施策名	第1施策自然環境との共生					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等 林道規程(林野庁)						
3 個別計画の概要				概要		
計画名	津久井町森林整備計画			森林法に基づき、森林の適切な施行を促進し、木材の安定供給や水源の涵養と産地災害の防止など、森林の持つ多面的な機能の確保を図ることを目的とする。		
計画年次	15	年度～	24			
4 事業形態の区分			維持・管理・補修	5 事業開始年度		平成18年度
6 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)					(2) 対象(誰、何)	
県水源の森事業を推進し、水源地域の公益的森林機能を発揮させるためや、林産物の搬出等図るためには、林道の計画的な維持管理が必要なため。					林道 総延長 13,344m	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施内容(活動)なのか。 市営小地原林道(津久井町青山)の維持管理として、排水清掃工 10m、路面不陸整正工 100㎡、路面敷砂利工 100㎡を実施した。						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況 林道を管理する地方公共団体も同様の維持管理を実施している。						
8 事業費の推移 [単位:千円]						
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	0	142	200	200	
一般財源	0	0	142	200	200	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	0	0	402	402	402	
事業コスト合計	0	0	544	602	602	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 (主たる事業名)	小地原林道修繕			対象名称 と単位	整備延長40m	
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト(主たる事業)	0	0	97,000	100,000	100,000	
対象数	0	0	40	50	50	
単位あたり経費(円)	0	0	2,425	2,000	2,000	
前年度比			0.00	0.00	103.09	100.00

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	整備率 %	指標式と指標の説明		整備延長/整備予定延長 × 100 = 整備率	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	40.0		
目標	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0
目標達成度 (%)	0.0	0.0	80.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	整備率 %	指標式と指標の説明		整備延長/整備予定延長 × 100 = 整備率	
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	40.0		
目標	0.0	0.0	50.0	50.0	50.0
目標達成度 (%)	0.0	0.0	80.0		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A : 妥当である・ B : 妥当性に課題がある・ C : 妥当でない]					
B	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A : 有効である・ B : 有効性を高める余地がある・ C : 有効でない]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A : 効率が良い・ B : 効率性を高める余地がある・ C : 効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
	[]	：良好な状態を維持する事業			
	[]	：概ね良好な状況である事業			
	[]	：見直しを行う必要がある事業			
	[]	：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業			
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		神奈川県が進める水源の森林づくり事業促進及び市内の森林の施業管理等に貢献している。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
林道整備により、森林の適正な管理が図れ、公益的機能の充実や、林産物搬出の負担軽減等に効果がある。			地形的に林道開設区間は急傾斜地が多く、未舗装であるため、降雨時の路面洗掘など、車両の運行に支障をきたすので、計画的に舗装工事を進める必要がある。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			